

宮城教育大学附属幼稚園だより

お日さまいっぱい

ふよう通信

発刊日 平成29年4月13日(木) No. 1

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-4-1

宮城教育大学附属幼稚園

TEL/FAX 022-274-1605

URL : <http://fu-youchi.miyakyo-u.ac.jp/>

Email : info2012@fu-youchi.miyakyo-u.ac.jp

春は「ワクワク・ドキドキ」の季節



入園 おめでとうございます

宮城教育大学附属幼稚園長 浅野治志

新入園児の皆さん、保護者の皆さん、ご入園おめでとうございます。待ち遠しかった春がやっと来たようです。

幼稚園での新しい生活へ夢と希望に胸を膨らませていることと思います。「ワクワク・ドキドキ。」皆さんの胸の高鳴る鼓動が聴こえてきそうです。春は「ワクワク・ドキドキ」の季節といえるのかもしれませんが。

新しい友達との出会いや新しい遊びの発見、これまで出来なかったことへの挑戦等、たくさんの「ワクワク」が皆さんを待っています。

「ワクワク」は、中から外へ激しく動いて現れる意味の「湧く(沸く)」から生まれた語で、期待や喜びなどで心が弾み、落ち着かないさまを表す際に用います。「ドキドキ」は自分の置かれた立場による心の動きなど広く用いられる言葉のようです。

ところで、この「ワクワク・ドキドキ」という言葉。私の専門とする陶芸の世界にぴったりと当てはまるような気がします。

まず、陶芸は粘土を練ることから始め、ろくろの上で形を作ります。形を作る時点で、すでに心がときめき、「さあ、どんな形にしようか。」とイメージを膨らませます。粘土成形は時間との勝負、ちょっとした油断が失敗につながります。そうして上手く出来たものは、ゆっくりと乾燥させ、素焼を行ないます。この素焼の時点で作品の中に気泡が含まれていると大爆発。無事素焼が出来たものだけに絵付けをし、釉薬を掛けて再び窯の中へ、あとは最後の窯焚きです。かなりの手間と時間をかけて制作した作品なのに、結局は祈るだけです。

「ワクワク・ドキドキ。」窯焚きを終えて作品が冷めるまでの24時間はほとんど「ドキドキ」ばかりの時間です。

こうした心の高揚の時間が陶芸のなかで、最も幸せで楽しい時間なのかもしれません。

おそらく新入園児の保護者の皆さんも、今は不安や心配でドキドキの時間だと思います。でも、少し辛抱して子どもたちを見守ってあげてください。子どもたちが自ら学び、成長する力を信頼しましょう。

附属幼稚園では、全職員が力を合わせ、安全管理に努めていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



宮城教育大学附属幼稚園だより

お日さまいっぱい

ふよう通信

発刊日 平成29年4月10日(月) No. 1

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-4-1

宮城教育大学附属幼稚園

TEL/FAX 022-274-1605

URL : <http://fu-youchi.miyakyo-u.ac.jp/>

Email : info2012@fu-youchi.miyakyo-u.ac.jp

春は「ワクワク・ドキドキ」の季節



進級 おめでとうございます

宮城教育大学附属幼稚園長 浅野治志

年中組、年長組の皆さん、保護者の皆さん、進級おめでとうございます。春休みは、楽しく健康に過ごせましたか？

今日から始まる幼稚園での生活へ夢と希望に胸を膨らませていることと思います。「ワクワク・ドキドキ。」皆さんの胸の高鳴る鼓動が聴こえてきそうです。春は「ワクワク・ドキドキ」の季節といえるのかもしれませんが。

新しい友達との出会い、新しい遊びの発見、これまで出来なかったことへの挑戦等、いろいろなことに多くの出会いがあります。13日には新入園児の皆さんが入園してきますので、温かく迎えてください。

「ワクワク」は、中から外へ激しく動いて現れる意味の「湧く（沸く）」から生まれた語で、期待や喜びなどで心が弾み、落ち着かないさまを表す際に用います。「ドキドキ」は自分の置かれた立場による心の動きなど広く用いられる言葉のようです。

ところで、この「ワクワク・ドキドキ」という言葉。私の専門とする陶芸の世界にぴったりと当てはまるような気がします。

まず、陶芸は粘土を練ることから始め、ろくろの上で形を作ります。形を作る時点で、すでに心がときめき、「さあ、どんな形にしようか。」とイメージを膨らませます。粘土成形は時間との勝負、ちょっとした油断が失敗につながります。そうして上手く出来たものは、ゆっくりと乾燥させ、素焼を行います。この素焼の時点で作品の中に気泡が含まれていると大爆発。無事素焼が出来たものだけに絵付けをし、釉薬を掛けて再び窯の中へ、あとは最後の窯焚きです。かなりの手間と時間をかけて制作した作品なのに、結局は祈るだけです。

「ワクワク・ドキドキ。」窯焚きを終えて作品が冷めるまでの24時間はほとんど「ドキドキ」ばかりの時間です。こうした心の高揚の時間が陶芸のなかで、最も幸せで楽しい時間なのかもしれません。

子育てする中で、不安や心配でドキドキすることもあるかもしれません。でも、少し辛抱して子どもたちを見守ってあげてください。子どもたちが自ら学び、成長する力を信頼しましょう。

附属幼稚園では、全職員が力を合わせ、安全管理に努めていきます。今年度も、よろしく願いいたします。

